



購読はこちら
(定期無料配信)

このたび季刊誌「周防灘」の創刊号を発行することとなりました。
本誌では、四半期に1回、徳山海上保安部を応援してくださる皆さまへ、活動内容や行事の
お知らせ、地域での取組みをわかりやすくお伝えしてまいります。

不発弾への対応

令和7年9月5日、周南市に所在する石油コンビナートの棧橋の至近海底で発見された不発弾は、令和8年3月25日、無事に海上自衛隊隊地方総監部(以下「海自」)により爆破処理されました。

海上の安全を陰で支えた徳山海上保安部(以下「徳山海保」)の活動をレポートします。

◆ 初動対応

5日、連絡を受けた徳山海保は、直ちに海自及び関係機関へ連絡するとともに、「海の安全情報」等での周知、巡視艇により付近海域の警戒を実施しました。

6日、海自による調査の結果、不発弾の不意爆発によって付近を航行する船舶に危険があると判断されたことから、徳山下松港長により、不発弾から半径300mの範囲において船舶の航行・停泊を禁止する措置を執りました。

8日、関係機関を招請して連絡調整会議を開催、不発弾の現状共有と今後の対応を協議しました。



棧橋上の油等抜き取り作業中に防護服を着用して即応待機する徳山海保の潜水士

◆ 水中爆破処分に向けた検討

海自はその後、現在地での水中爆破処理方針を決定。爆破の衝撃で棧橋上の配管内に残る油等が流出するおそれがあったことから、この課題について関係機関とともに取り組みました。

◆ 油抜き取り作業、潜水作業等の安全確保

12月8日～12日、棧橋上の配管に残る油等の抜き取り作業が行われました。徳山海保では、不測の事態に備えて付近海域を警戒するとともに、防護服に身を包んだ潜水士を即応待機として救助体制を執りました。また、22日及び23日、事業者による潜水探査作業が実施されましたが、この危険な作業の実現に向けて、関係機関と入念に調整を図り、港内作業許可を発出しました。

◆ バブルカーテンの設置作業

不発弾の爆発から棧橋等を防護する方法として、バブルカーテン(※)が採用されましたが、その設置作業も海上作業となることから、入念に調整を図りました。

◆ 爆破時の対応

周南市長を本部長とする「不発弾処理等現地対策本部」が設置され、3月25日午前11時08分、不発弾は無事に海自により爆破処理されました。

徳山海保は、職員や機動防除隊員を派遣すると共に、現場海域へ巡視艇等3隻を配備して海上警戒を実施、油等が漏洩した場合の防除体制に関係機関とともに構築するなど、万が一に備えました。



巡視艇なち撮影

※海中で無数の気泡によりカーテン状の空気
の層を作り、爆発の影響を緩和させる方法。
不発弾処理に対する防護としては国内初採用。

夏だ！海だ！安全に海を楽しむために

海の事故ゼロキャンペーン

毎年7月16日～7月31日にかけて全国で、民間の海事関係団体と海上保安部をはじめとした関係行政機関が連携して、「海難ゼロへの願い」をスローガンに「海の事故ゼロキャンペーン」が実施されます。

このキャンペーンは、船の運航に直接かかわる方やマリネジャー愛好家だけではなく、海運や漁業活動の恩恵を享受する国民のみならず、海難防止思想の普及及び高揚並びに海難防止に関する知識技能の習得及び向上を図ることを目的とし、民間団体や関係行政機関が協力して実施する運動です。

本キャンペーンの重点項目は、以下の4項目です。

- 見張りの徹底 及び 船舶内・船舶間におけるコミュニケーション促進
- ふくそう海域における安全確保 及び 走錨[※]に起因する事故の防止
- 小型船舶の安全対策 及び マリネジャー活動における安全対策
- ライフジャケットの着用率の向上

※走錨とは

船が錨を下して錨泊しているとき、風や潮の流れなどの船に働く外力が、錨が船を一定の場所に留める力より大きいとき、錨が海底を滑って船が動いてしまうことをいいます。



周南市を拠点に活動する渡辺純菜さんを1日海上保安部長に任命します

海上保安協会徳山支部の藤井支部長(周南市長)は、周南地区で本運動を推進する「海難防止強調運動周防地区連絡会議」の議長を務めており、7月18日(土)には海上保安協会徳山支部は徳山海保と協力し、周南市を拠点にセーリング種目(iQフォイル級)でのオリンピック出場を目指して活動する渡辺純菜さんを、一日海上保安部長に任命する任命式や、一日海上保安部長等による啓発活動を予定しています。

マリネジャー安全推進に係る意見交換会

徳山海保は、ゴールデンウィークの連休を控えた4月30日(木)に、これからの季節に活発になるマリネジャーに関する事故の防止を目指して、安全啓発活動を効果的に展開するため、海上安全指導員[※]や徳山海保管内で活動する釣り愛好家団体の代表者、山口県スポーツ交流村所長の計13名の方々に集まりいただき、意見交換会を開催しました。

意見交換会では、徳山海保の担当者から近年におけるマリネジャー中の事故発生数の推移や、実際に発生した事故の事例やその原因・対策等を発表したほか、参加者の方からは事例の事故がどのような状況で発生しやすいかなど、それぞれがお持ちの知見からご意見や、海上における法律やマナーに関するご質問をいただき、これらを共有出来たことで今後の安全啓発活動に活かせる有意義な会となりました。

意見交換会の後は、海上安全指導員[※]の方々と徳山海保の職員が合同で、周南市内の釣具店において、釣り中の事故防止について啓発活動をおこないました。



海上安全指導員の方々と事故防止を呼びかけ

■海上安全指導員とは■



海上安全指導員による安全指導の様子

海上保安庁では、安全なマリネジャーを推進するため、安全航行に関する周知・啓発活動を自主的に実施している方々をマリネジャーのリーダーとして位置づけ、「海上安全指導員」として指名しています。

この「海上安全指導員」は、全国で約1,300名が指名されており、徳山海上保安部管内では3名の方が活動されています。

「海上安全指導員」の主な活動としては、パトロール艇を用いたプレジャーボートの安全指導や、マリナー・ヨットハーバー等に停泊する船を訪問して安全指導を行うほか、安全講習会の講師として活躍される方もいらっしゃいます。



安全パトロール艇が掲揚する旗

徳山海保は海の事故ゼロを目指します

マリンレジャーの事故に注意

これから夏に向かい夏休みも迎える中、マリンレジャーを楽しむ方も増えるものと思います。

しかしながら、海で遊ぶ際に必要な知識や習得しておくべき技術などが不足した状態で海に出て行き、事故にあう人が増えています。
また、事故の内容によっては取り返しのつかない重大事故になるおそれもあります。



このため海上保安庁では、だれもが安全に安心してウォーターアクティビティ（海辺でのレジャー活動）を楽しめるように、事故防止のための情報を発信する総合情報サイト「ウォーターセーフティガイド」をホームページ上で公開しています。

この「ウォーターセーフティガイド」は、国の関係機関や民間の関係団体などが参加する意見交換会において、合意・推奨された事故防止のための情報をとりまとめたものです。

マリンレジャーに出かける前に、「ウォーターセーフティガイド」を活用いただき、安全にお楽しみください。



©JCGF

マリンレジャーの事故防止
ウォーターセーフティガイド

 Water Safety Guide

詳細はこちら

ウォーターセーフティガイド

検索



つつじ・ゆめ風車まつりに参加

5月3日（日）、レゾナック永源山公園で開催された「つつじ・ゆめ風車まつり」の会場で、徳山海保のブースが出展しました。海上保安協会徳山支部も徳山海保ブースで協会オリジナルグッズの販売をおこない、来場者の方に好評をいただきました。

当日は天候に恵まれず、時折強い雨が降るあいにくの雨模様となり、その影響で制服試着などの予定の一部は中止となりましたが、徳山海保のブースには会場には多数のかたが来訪され、徳山海保の職員から海上保安庁の業務説明をおこない、海保業務への理解を深めていただく良い機会となりました。

またブースに来てくれた子供たちには、徳山海保に所属する巡視艇4隻や海上保安庁のロゴ等（全9種）が印刷された徳山海保特製の限定缶バッジ等がプレゼントされ、子供たちも大喜びで海上保安官募集活動に大きく貢献したことでしょう。

この缶バッジは今後も徳山海保が参加するイベント等で配布が予定されていますので、海保のブースを見かけたら是非お越しください。



たくさんの来訪ありがとうございました



真剣に缶バッジを選ぶ子どもたち

海上保安協会徳山支部 総会のご案内

海上保安協会徳山支部は、7月7日(火)にホテルサンルート徳山にて総会を開催します。

総会では令和8年度の賛助会員106機関に対し、令和7年度事業概要報告及び決算報告、令和7年度決算報告、令和8年度事業計画(案)及び予算(案)、役員の変更についての議案審議をしていただく予定です。賛助会員の皆様におかれましては、日頃より当協会にご理解・ご協力いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

総会は当協会の活動状況や今後の取り組みについて共有させていただく大切な機会となっております。今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

以下の写真は昨年(令和7年)の総会の様子です



海上保安協会徳山支部新規賛助会員募集

公益財団法人海上保安協会は昭和24年に設立されて以来、海上の安全及び治安の確保を図る海上保安活動に関する事業を行うことにより安全で安心な社会の実現に寄与しています。全国に108の支部があります。

これらの事業を行っています

- ・緊急通報ダイヤル118番の周知活動
- ・海上保安活動に係る普及啓発活動
- ・海上における防犯及び環境の保全
- ・海上保安活動に係る物品・オリジナルグッズ・書籍等の販売 など



©JCGF

協会の趣旨にご賛同いただける個人・法人の方

年会費(一口1万円から口数は自由にお決めいただけます)を納めていただき申込書を提出いただけますとご加入できます。

詳細は協会事務局(090-9462-0023)までお問い合わせください。

海上保安官募集!

◎海上保安大学校(海上保安庁の幹部職員を養成)

- ・受付期間:8月20日(木)~9月7日(月)
- ・第一次試験日:10月24日(土)及び25日(日)
- ・第二次試験日:12月11日(金)

◎海上保安学校(各分野のエキスパートを養成)

『一般課程(航海コース、機関コース、通信コース、主計コース、航空整備コース)』、『航空課程』、『海洋科学課程』、『管制課程』があります

- ・受付期間:7月10日(金)~7月23日(木)
- ・第一次試験日:9月27日(日)
- ・第二次試験日:10月20日(火)~10月29日(木)
- 一次試験合格通知で指定する日時(航空課程は2日間)

※航空課程のみ第三次試験まであります

詳細や申し込みはWEBで!『国家公務員NAVI』で検索

興味を持たれたら、徳山海上保安部までお尋ねください!



「海上保安友の会」新規会員募集!

海への親しみや海上保安の業務に関心をお持ちの方、ぜひ「海上保安友の会」にご入会ください。海上保安庁のさまざまな業務を紹介する海上保安新聞や会報誌、巡視船体験乗船などイベントのご案内をお送りします。新規会員紹介キャンペーンも実施中です!

※詳しい内容や入会の手続きは右のQRコードからご覧ください



海の事件・事故は118番

公益財団法人

海上保安協会徳山支部

〒745-0023

周南市那智町3-1

TEL 090-9462-0023

